

竹筆であそぶ ～竹筆作りと新年の書

(全1回)

竹筆を自分で作り、新年の
想いを一字に込めましょう

竹筆は、服織地域に残る郷土玩具「おかんじゃけ」の技法を使って制作します。郷土玩具「おかんじゃけ」は、真竹を金づちで叩いて繊維状にしたもので、昔は子どもが相撲の軍配やお人形にして遊んだそうです。現在も毎年7月に洞慶院開山忌の縁日で縁起物として販売されており、「縁日でおかんじゃけを買うと病気をしない」と伝えられ、魔除けとして玄関につるされています。今回はそんな竹筆を使って、新年の想いをしたためます。



作品例：模造紙サイズの紙に書いた作品

令和8年1月10日(土)
午前9時30分～11時30分

- ◆対象：どなたでも 15人
- ◆会費：1人500円
- ◆会場：薬科生涯学習センター 第2集会室
- ◆講師：松本 健作 氏(静岡県書写書道振興会副理事長)
- ◆申込：12月10日(水)10時00分より、ホームページ
またはお電話にて薬科生涯学習センターまでお申込みください。(1申込2人まで、申込順)



模造紙サイズと画用紙サイズ(2026年カレンダー)の2種類の紙を使います。

HPはこちらから→
(会員登録が必要です)



薬科生涯学習センター

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団

〒421-1217 静岡市葵区羽鳥本町 5-9

☎ 054-278-4141

静岡市生涯学習センターホームページ



薬科生涯学習センターでは、伝統ある郷土玩具「おかんじゃけ」を後世に伝えていく取り組みをしています。